

／令和3年度近畿ブロック農福連携セミナー／

日時:令和4年1月28日(金) 13:30~16:15

(13:00~ Web接続開始)

障がい者等の社会参画を促す一方、労働力不足や耕作放棄地の増加などの農業分野の諸問題の解決も期待される「農福連携」は、地域において農業と福祉の双方が「Win・Win」の関係を構築する重要な取組みであるものの、「知られていない」、「踏み出しにくい」、「広がっていかない」といった課題を有しています。本セミナーは地域における農福連携の取組の促進を目的とします。

プログラム

参加費無料

1 開会挨拶(13:30~13:35)

2 行政説明(13:35~13:55)

①近畿厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

「地域共生社会について」

②近畿農政局農村振興部農村計画課

「農福連携について」

3 事業者による事例発表(13:55~15:35)※途中休憩含む

①農業生産法人有限会社ポニーの里ファーム

「農業経営主体が主体となる農福連携について」

②社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城

「福祉事業所が主体となる農福連携について」

③ハートランド株式会社

「特例子会社が主体となる農福連携について」

4 自治体による事例発表(15:45~16:05)

①静岡県浜松市産業部農業水産課

「ユニバーサル農業について」

5 事務連絡(16:05~16:10)

6 閉会挨拶(16:10~16:15)

※内容については、変更が生じる場合があります。



参加申し込み

令和4年1月7日(金)までに以下お申し込みフォームより登録願います。

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/form/pub/kousei05/20220128>

<留意事項>

・参加は無料です。

・定員(300名)になり次第締め切らせていただきます。

・「お申し込みフォーム」は使用端末の単位で作成してください。

例:1人で1端末使用 →「お申し込みフォーム」は1件作成

複数人で1端末使用 →「お申し込みフォーム」は1件作成

・「お申し込みフォーム」入力後は「完了メール」の到達を確認してください。到達しない場合は、お手数ですが下の問い合わせ先までご連絡ください。

・お申込みいただいた方に、「当日資料」「CiscoWebexミーティングリンク・ミーティング番号・パスワード」及び「アンケートURL」を令和4年1月26日(水)までにメールにて送信します。

問い合わせ先

厚生労働省近畿厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課
(TEL)06-7711-9020

事例発表者の紹介

ポニーの里ファーム (奈良県高市郡高取町)

若者、高齢者、障がい者の雇用を生み出すことを目的にスタート。大和当帰をはじめとする薬草の6次産業化をキーワードに事業を展開し、休耕地の解消や地域の課題に取り組む。



さんさん山城

(京都府京田辺市)



耕作放棄地を活用して伝統野菜を生産するとともに、併設のカフェでワンコインランチを提供。地域に根ざした取り組みを通して、多種多様な人びとが活躍できる「地域共生社会づくり」を実践している。

ハートランド株式会社 (大阪府泉南市)

農業を新しい障がい者雇用の場と考え、2007年に特例子会社で日本初の農業生産法人に認可される。ほうれん草など葉菜類の水耕栽培を行い、農業の復活に貢献できる事業を目指す。



浜松市産業部農業水産課

(静岡県浜松市)



農業、福祉、企業、学識経験者、県及び市の各関係機関で構成する「浜松市ユニバーサル農業研究会」での定例会やシンポジウム等を通じ、情報の共有化や連携の促進を図りながらユニバーサル農業の促進に取り組む。